

次世代型大学教育開発センターとは？

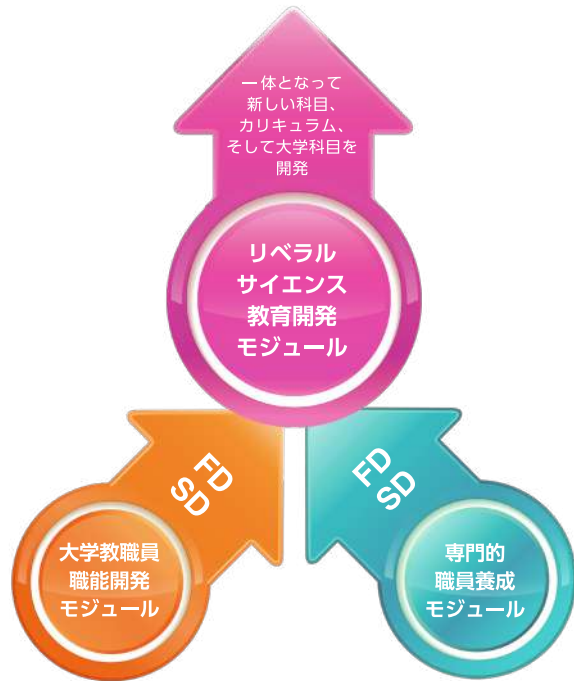
九州大学基幹教育院は平成26年に開始した基幹教育®の実践母体として設立されました。基幹教育®では、「学び方、考え方を学ぶ」姿勢の涵養こそが学問追究の基本であるという観点に立ち、自ら問いを立て主体的な学びのできるアクティブ・ラーナーの育成を目指しています。

平成28年7月、九州大学基幹教育院が文部科学省教育関係共同利用拠点「次世代型大学教育開発拠点」として認定されたことに伴い、拠点事業を担う「次世代型大学教育開発センター」が発足しました。

本センターは「リベラルサイエンス教育開発モジュール」「大学教職員職能開発モジュール」「専門的職員養成モジュール」の3部門体制で活動を行っており、各モジュールで、公開体験授業や人材養成研修の企画・運営を行っています。また、九州大学内外の優れた教育実践を広く学内や他大学と共有し、大学教育の更なる活性化とパワーアップを図る場として、セミナー・講演会などを提供しています。

私たちは、アクティブ・ラーナー育成のためには、まず、教職員自身がアクティブ・ラーナーとなるのが大切だという考えの下、活動を展開していきます。

皆さまとの「出会い」を心待ちにいたしております。



次世代型大学教育開発センターウェブサイトでは、

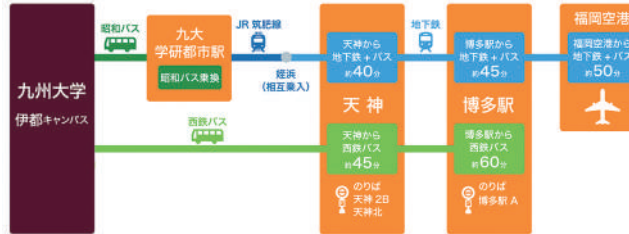
- 最新のイベント案内
- 過去のイベント開催報告などを随時更新中です。
- また、
- イベント案内メーリングリスト
- イベント申し込みフォームも開設中です。



ご意見・ご提案も随時受け付けております。

講師派遣も行っております。ご希望の方は、以下の問い合わせ先まで、お気軽にご相談下さい。

ACCESSMAP



問い合わせ先

次世代型大学教育開発センター 事務室

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 伊都キャンパス センター3号館3104号室

Tel: 092-802-6070 E-mail: kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp



九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発拠点

Initiative for the Future Development of Education, Kyushu University



九州大学



次世代型大学教育開発拠点の特徴は、高等教育の専門家と“一般の大学教員”が共に知恵を出し合い、現場で奮闘・実践した成果を九州大学内外に発信できることです。

本拠点事業は「リベラルサイエンス教育開発モジュール」「大学教職員職能開発モジュール」「専門的職員養成モジュール」の3部門体制となっており、それぞれのモジュールで、公開体験授業や人材養成研修の企画・運営を行います。これらの公開体験授業や人材養成研修は、他機関などと協力しながら実施していきます。

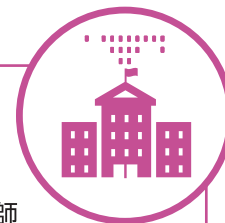
リベラルサイエンス教育開発

- 初年次ポータル科目の開発
- 文理融合型科目開発
- 総合的実験科目開発
- 科目開発に関する実践的FD
- 科目開発方法を他大学に支援

九州大学基幹教育院が基幹教育カリキュラムを開発・運営する中で蓄積してきた、さまざまな科目展開の実績を基盤として、それらを他大学に発信・普及させていくためのプログラム開発を行っています。

ここで行われる研修は大学関係者だけに限定するのではなく、高大接続の視点から積極的に中等教育を担う教師にも開放し、中等教育から高等教育への円滑な接続を目指したコミュニティ形成をも視野に入れています。

このモジュールでは、旧来の学問分野の壁を越えて、科学の基礎的な観念や共通する方法論を基盤とした授業開発を行うために必要な、さまざまなものの見方、考え方や方法等を、広く共有するための研修を行うことを目的としています。



大学教職員職能開発

アクティブラーニングの考え方や技法に関する研修

- 九州大学アクティブラーニング教室
- イノベーション教育セミナー
- PBLセミナー
- 学生支援セミナー

大学教職員としての基盤的な知識を獲得し、それを現場で活用できる資質・能力を養成するための研修プログラムを行っています。

このモジュールでは、学生の主体的な学びを促すために、今日の大学教育で必須とされているアクティブラーニングを中心とした諸技法を学ぶ研修プログラムを提供します。中でも、九州大学で実践されている事例を中心とした研修プログラムを、「九州大学アクティブラーニング教室」として展開します。また、デザイン思考、ファシリテーション、ケースメソッドといった手法について学ぶ機会を「イノベーション教育セミナー」として提供します。その他にも、PBL (Problem-Based Learning) や合理的配慮についての研修会も開催します。

さらには、大学院生やポスドク、若手教員を対象に、大学教員に必要な知識、技能、能力を修得することを目的とした「PFFP (Preparing Future Faculty Program (大学教員養成プログラム))」を九州大学教育改革推進本部と連携して開発し、その一部を将来的に公開する予定です。



専門的職員養成

- アドミッション・オフィサー養成
- カリキュラム設計担当者養成
- インスティテューショナル・リサーチャー養成

大学諸活動への説明責任や、教育研究活動の改革・改善に対する社会的な要請の高まりを受けて、これまでとは異なる役割を担う教職員が求められています。それは学長がリーダーシップを発揮するために必要な、大学諸活動の現状把握やそれに基づいた方針の策定を支援する人材です。

このモジュールでは、1) アドミッション・オフィサー養成プログラム、2) カリキュラム設計担当者養成プログラム、3) インスティテューショナル・リサーチャー養成プログラム、の3つの専門的職員に焦点をあてた研修プログラムの開発と提供を行うことで、専門的職員の育成と職能開発を通じたコミュニティの形成を目的とした活動を行います。

